

キリストの勧告と警告の言葉に注意することによって、
また彼の更新された訓練を受けて
わたしたちの内なる人が日ごとに更新されることによって、
良き地としてのすべてを含むキリストを受け継ぐ

聖書：ヘブル 3:12, 16-19, 4:2, 6, 11:1, I コリント 10:1-14,

詩 106:24-25, 申 8:3, マタイ 4:4

- I. 神がイスラエルの子たちを召した目標は、彼らが約束の地へ入ってその地の豊富を享受して、神の王国を設立し、地上における神の表現となることでした——出 3:8, 14, 17:
- A. すべてのイスラエル人は過越を通して贖われ、エジプト人の暴虐から救い出され、神の山へともたらされて、神の住まいである幕屋の啓示を受けましたが、彼らの悪行と不信仰のゆえに、ほとんどすべての人は荒野で倒れて死に、この目標に到達することに失敗しました(ヘブル 3:7-19)。
 - B. これが表徴している事は、わたしたちはキリストを通して贖われ、サタンの束縛から救い出され、神のエコノミーの啓示の中へともたらされましたが、神の召しの目標に到達することに失敗するかもしれないということです。神の召しの目標とは、わたしたちの良き地であるキリストの中へと入り、彼を所有し、神の王国のために彼の豊富を享受し、それによってわたしたちが今の時代において彼の表現となり、王国時代においてキリストに対する極みまでの享受にあずかるということです——マタイ 25:21, 23。
 - C. カレブとヨシュアだけがこの目標に到達して、良き地へ入りました。わたしたち新約の信者は、カレブとヨシュアのように、「目標(キリストに対する最も満ち満ちた享受と獲得)に向かって追い求め」、「賞(千年王国におけるキリストに対する極みまでの享受)を得る」必要があります——民 14:27-30, ペリピ 3:12-14:
 - 1. モーセが遣わしてその地を探らせた十二人のうち十人は、悪く報告して、イスラエルの子たちをつぶやかせ、主の言葉に背かせました。しかし、カレブとヨシュアは、全集団に言いました、「ただ、決してエホバに背いてはなりません。その地の人々 [アナク人] を恐れてはなりません。彼らはわたしたちの食物であるからです」——民 14:9。
 - 2. 神の言葉は、わたしたちのパン[食物]であり(マタイ 4:4)、神のみこころを行なうことは、わたしたちの食物であり(ヨハネ 4:34)、わたしたちの食物はまたアナク人でもあります(民 14:9)。アナク人が表しているのは、わたしたちが召会を建造するためにキリストを追い求める時に遭遇する、

一見すると乗り越えられない困難やどうしようもない状況です。

3. サタンがわたしたちの行く手に置くあらゆる困難や誘惑は、わたしたちにとって食物です。これは、神が与えた霊的進歩のための手段です(Ⅰテモテ 4:15-16)。もしわたしたちが主に頼って勝利を得、彼の勝利を得る命がわたしたちにおいて現れるようにするなら、わたしたちは新鮮な養いを見だし、活力を増し加えるでしょう(ヨシュア 14:11-15)。
 4. わたしたちは神の守る力を持つために、わたしたちの信仰の霊を活用し、わたしたちの心を主に向け続け、心を尽くして彼の約束を信じ(Ⅱコリント 4:13, 3:16, 1:20)、彼が彼の民と共におられることを信じ、また彼らが必ず打ち勝つことができると信じなければなりません(ヨシュア 14:12-15, 民 13:30)。わたしたちは自分の魂を信実な創造主なる神にゆだね(Ⅰペテロ 4:19)、自分自身を彼に明け渡し、彼にゆだねてわたしたちの一生を守っていただかなければなりません(Ⅱテモテ 1:12)。
 5. わたしたちが彼の約束に信頼し、自分自身を完全に彼にゆだねるなら、わたしたちはこの日から彼の再来の日まで守られます。彼はわたしたちをつまずきから守り、わたしたちを傷のない者として、大いなる歓喜の中でご自身の栄光の前に立たせることができます——ユダ 24 節。
 6. わたしたちは、良き地としてのキリストを完全に所有しようとするなら、不信仰という邪悪な心を持たないように気をつけなければなりません。主を信じないことは、主に背くことです——申 1:25-26, 28, 35-39, 9:23, ヘブル 3:12, 16-19, 4:2, 6, 11:1, 参照、Ⅱコリント 4:13, ガラテヤ 3:2, 5, ローマ 10:17, 使徒 6:5 前半, 民 13:25-33, 14:4-10, 32:11-12, ヨシュア 14:6-12, Ⅰコリント 10:1-13。
 7. わたしたちは、良き地としてのキリストを完全に所有しようとするなら、つぶやき(不満足でひそかなつぶやき、愚痴、不平)に気をつけなければなりません。つぶやきは、不満を持ち、気持ちを暗くさせる恨みを込めて、小言を言うことです——10 節, 詩 106:24-25, ピリピ 2:14。
- II. わたしたちが良き地としてのキリストを完全に所有しようとするなら、使徒パウロがイスラエルの子たちが金の子牛を拝んだ偶像礼拝(出 32:1-6)を指して言っているように、わたしたちは「偶像礼拝から逃れ」なければなりません(Ⅰコリント 10:14)：
- A. 金の子牛は神の贖われた民が造った偶像でした。立って戯れるとは、お祭り騒ぎ(調子に乗って騒ぐこと)にふけることです。わたしたちの心の中の偶像とは、わたしたちの中で、わたしたちが主以上に愛するあらゆるもの、

またわたしたちの生活の中で主に置き換わるあらゆるものです(エゼキエル 14:3)。わたしたちは真の神の子供たちとして、警戒して偶像から、またわたしたちの生活におけるキリストの代替物と置き換えから、自分自身を守る必要があります(Iヨハネ 5:21)。

B. わたしたちは金の子牛の偶像の原則によって警告されなければなりません。神の贖われた民が造った偶像は、彼らを偶像礼拝の営所としました。偶像礼拝は五つの原則を含んでいます——Iコリント 10:5-7:

1. 自分を装飾[美しく]することは、偶像礼拝に導きます(出 32:1-4, 33:5-6, 創 35:1-4)。神はわたしたちの美しさであり、彼は彼の美の家としての召会を美しくし、彼が美しくされるようにします(イザヤ 60:7, 19, 21, エペソ 5:26-27)。わたしたちの自己の表現の中には分裂がありますが、神の団体的な表現、すなわち神聖な栄光の中には一があります(ヨハネ 17:22-24)。わたしたちの働きは、わたしたちの生活であって、地上で神の栄光を現し、神を表現することです(4節, Iコリント 10:31, イザヤ 43:7)。また、わたしたちの語りかけにおいて、わたしたちは自分の栄光を求めるべきではなく、自分自身を宣べ伝えるべきでもなく、キリスト・イエスを主と宣べ伝え、また自分自身を奴隷と宣べ伝えて信者たちに仕えるべきです(ヨハネ 7:17, IIコリント 4:5)。
2. 偶像礼拝は、神がわたしたちに与えたものを、サタンが強奪して、それを無駄にすることです。それは、神がわたしたちに与えたものを、わたしたちが乱用することであり、物質のものであれ霊的なものであれ、神の賜物を神の定められた御旨のために用いないことです。イスラエルの子たちがエジプトから脱出する前に、神によってエジプト人を通して彼らに与えられた金は、幕屋の建造に用いられるべきでした。しかしながら、この金は神の目的のために用いられることができる前に、サタンによって強奪され、神の民が偶像を造るのに用いられてしまいました——出 11:2-3, 12:35-36, 25:2-8, 35:4-9。
3. 偶像礼拝は、わたしたちが享受しているものを礼拝すること、すなわち、娯楽や享楽を礼拝することです。そうです、わたしたちは主に対する享受を持っていますが、これはこの世的な娯楽や享楽の一種ではありません——32:6, 18-19, 参照、詩 36:8-9:
 - a. パウロはこのようにコリント人に警告しました、「また彼らのある者のように、偶像を拝む者となってはいけません。『民は座して食べ飲みし、立って戯れた』と書かれているとおりです」(Iコリント 10:7, 出

32:6)。C. A. コーツ(C. A. Coates)は、彼らは遊んだと言っています。週末になると多くの人の関心は、ただ食べ、飲み、遊ぶことだけです。

b. 「戯れる」とは、はしゃぐこと、冗談を言って笑うこと、不真面目な行動、演技、語りかけのことです。「戯れる」とは、ふざけて遠慮なく振る舞うことです。それは、浮かれること、すなわち興奮してふざけることと関係があります。

4. 偶像礼拝には、真の神を礼拝しているという見せかけがあります——4-6節。列王上 12:26-30. 参照、マタイ 4:8-11. ヨハネ 4:23-24。

5. 偶像礼拝には、礼拝の中に混合があります——出 32:4-6, 21-24. 参照、I コリント 3:12。

C. イスラエルの子たちが金の子牛を拝んだ後、モーセは主の臨在がもはや民の間になくすることに気づいたので、彼の天幕を移動させ、営所から離れた所に張りました。すると、彼の天幕は神の天幕となりました。なぜなら、主の臨在と語りかけがいずれもそこにあったからです——出 33:7-11。

D. モーセが自分の天幕を移動させて偶像礼拝の営所から分離した後、人が自分の仲間に語るように、主は顔と顔を合わせてモーセに語りました(出 33:11, 14)。神とモーセは仲間、同僚、パートナーであって、同じ事業にかかわり、大きな事業の中で共同の権益を持ちました。モーセは神と親密であったので、神の心を知っている、神の心にかなう、神の心に触れることのできる人でした。

III. 更新された訓練は、イスラエルの子たちの新しい世代が長くさまよった後、神によってモーセを通して彼らに与えられました。それは、彼らを備えて、彼らが神によって約束された良き地へ入り、それを彼らの所有として受け継ぐようにするためでした。カレブとヨシュアを除く、第一世代の人が死に絶えた後、第二世代は良き地へ入ってそれを所有する準備ができていました：

A. 第一世代はわたしたちの古い人を予表し、第二世代はわたしたちの新しい人を予表します——申 2:14. 8:6-10. 出 3:8. コロサイ 1:12：

1. わたしたちは、命において成長して、すべてを含むキリスト(神の約束された地)を完全に所有し、享受する者となる必要があります。造り変えは、古い人を死に絶えさせ、新しい人を成長させることです。神のエコノミーは、わたしたちの古い人(外なる人)が朽ちていくようにし、わたしたちの新しい人(内なる人)が日ごとに新しくされるようにすることで

す——Ⅱコリント 4:16。

2. 主のあわれみと恵みによって、わたしたちは主の回復の中へと入って来た後、更新されつつあります。これによって、わたしたちは命において成長し、命において造り変えられて、わたしたちの良き地としてのキリストを享受することへとともたらされます。これは神の建造と王国のためです——3:18. ローマ 12:2。
- B. わたしたちの命における造り変えは、わたしたちがキリストの言葉をわたしたちの内に豊かに住ませるときに起こります(コロサイ 3:16)。申命記第 8 章 3 節は言います、「人はパンだけで生きるのではなく、人はエホバの口から出るすべてのものによって生きる」。マタイ第 4 章 4 節では、「すべてのもの」が「すべての言葉」に置き換えられています：
1. 聖書の言葉はすべて神の息吹であり、すべてキリストを指しています。キリストは神の言葉の総合計であって(ヨハネ 1:1. 啓 19:13)、神の民の命また命の供給です。神の口から出るすべての言葉によって生きることは、神聖な息の具体化であるキリストによって生きることです(ヨハネ 6:57, 63. 20:22)。
 2. 聖書の言葉は、神の息吹き出しであり、神の吐き出すことであるので(Ⅱテモテ 3:16)、わたしたちはすべての祈りによって神の言葉を受け取ることによって(エペソ 6:17-18)、聖書の言葉を吸い込むべきです。わたしたちは聖書を教えているとき、神を人の中へと吐き出しているべきです。
 3. わたしたちは、良き地としてのキリストを完全に所有するために、わたしたちに対する主の新しい語りかけを日ごとに受けることによって、主に対するわたしたちの新鮮さと新しさを維持しなければなりません(哀 3:22-24. 申 34:7. ローマ 7:6. エレミヤ 15:16)。わたしたちは、その地に長く暮らして衰えていくことに気をつけなければなりません(申 4:25)。「長く暮らして衰えていく」という言葉が暗示するのは、「習慣の影響力、あるいは同じ地点に長く住むことによって、霊的な新鮮さを失うこと、当初の印象が不鮮明になること」です(S. R. Driver、S. R. ドライバー)。
 4. わたしたちが神を愛し、自分自身をへりくだらせ、主の言葉を祈り読みすることによって神の書かれた言葉の中の生ける言葉としての主に来るなら、彼はわたしたちに対するその霊の適用された言葉となります。彼の即時的な言葉は、わたしたちにとって霊であり、命であって、わたしたちの供給また養いとなり、わたしたちは彼の言葉を通して、神の実質

を注入され、神格においてではなく、命と性質において神と一となって、神に栄光を得させ、神を表現します——ヨハネ 5:39-40. 6:57, 63. エペソ 5:26-27。

IV. 神の更新された訓練は、彼の九つの事柄における彼の民に対する命令でした：

- A. わたしたちは主を畏れなければなりません。主を畏れることは、主を怒らせることを恐れること、彼の臨在を失うことを恐れること、次の時代に褒賞としての彼を受けないことを恐れることです。わたしたちはこの時代に主の笑顔を失うことと、次の時代に彼の褒賞を失うことを恐れるべきです——箴 1:1, 7. エペソ 4:30. II コリント 5:9-10。
- B. わたしたちは神の道を歩まなければなりません。神であるすべては、わたしたちにとって道です。ですから、神が何であるかをわたしたちの道として受け入れ、これらの道を歩くことは、神を生き、キリストを生きることです。キリストをわたしたちの道として受け入れることは、彼を生き、彼を表現し、彼を大きく表現することです——ヨハネ 14:6. ピリピ 1:19-21 前半。
- C. わたしたちは、わたしたちの神である主イエスを愛さなければなりません (ヨハネ 20:28)。なぜなら、神はわたしたちを愛しており、わたしたちに愛情を注いでいるので (申 10:15. エレミヤ 31:3)、わたしたちは彼に愛情を注ぐことによって、彼を愛し返すべきです (I コリント 2:9)。
- D. わたしたちは心を尽くし、魂を尽くして、神を愛し、神に仕えなければなりません。わたしたちの心は、わたしたちの霊とつながっています。なぜなら、わたしたちの良心は、わたしたちの霊の機能であり (ローマ 9:1)、またわたしたちの心の機能でもあるからです (ヘブル 10:22)。こういうわけで、心と魂を尽くして神を愛し、神に仕えることが示しているのは、わたしたちが愛の霊 (II テモテ 1:7) であるわたしたちの霊をも用いて神を愛し、神に仕えるということです (ローマ 1:9)。
- E. わたしたちは彼の戒めとおきてを守って、幸いを得なければなりません。これが意味するのは、わたしたちが今日、神の戒めの実際としてのキリストを守り、わたしたちに供給されたキリストの豊富を守って、わたしたちが祝福を得るようにする必要があるということです——申 10:13。
- F. わたしたちは、わたしたちの心の包皮を割礼しなければなりません。これは、わたしたちが、わたしたちの再生された霊の中で生活し、奉仕することによって、肉を十字架につけることを意味します (ガラテヤ 5:24)。肉は、

わたしたち天然の人であるすべてと、持っているすべてです(ローマ 1:9, 2:28-29, 7:6, 8:4, 16)。これによって、わたしたちは真に「割礼の者であり、神の霊によって仕え、キリスト・イエスの中で誇り、肉を頼みとしていない」ようになります(ピリピ 3:3)。

- G. わたしたちはもはや首筋を硬くしてはいけません。わたしたちの首筋が硬いことは、わたしたちの頑固で反逆的な意志を表徴しています(申 31:27)。このような意志は、キリストによって、造り変える霊としての彼を通して、征服され復活させられて、彼に対する従順におけるわたしたちの美しさとならなければなりません(雅 1:10, ピリピ 2:13)。
- H. わたしたちは神のすべての戒めとしてのキリストにしっかりと結びついていなければなりません。そうすれば、わたしたちは増強され、励まされて前進し、わたしたちの良き地としてのキリストを所有します(申 11:8, 24)。これは、わたしたちがキリストを獲得することを意味します(ピリピ 3:8)。さらに、わたしたちの日はキリストの中で長くされ(申 11:9, 21)、神の目はわたしたちの上であり、彼の臨在の祝福をわたしたちに与えます(12節)。そして、わたしたちは天の雨、すなわちその霊の水注ぎを享受して、キリストの収穫を刈り取ります(14-15節)。
- I. 「彼の御名を指して誓わなければならない。彼はあなたの賛美、彼はあなたの神であって、あなたの目が見たこれらの大きな畏るべきことを、あなたのために行なわれた」(10:20 後半-21)。新約の用語と経験において、これが意味するのは、わたしたちが主の御名を呼び求めて、彼の有機的な救いと彼の計り知れない豊富を享受するということです(ローマ 10:12-13)。